

特定非営利活動法人プチユナイテッドアスリートクラブ（山形県山形市）

■ 賛同するテーマ



JFA グラsslroots推進 賛同パートナー

■ 団体の理念・ビジョン・方針

地域住民に対して、フットサル及びスポーツ活動のため、指導・育成、指導者の養成、施設の設置・管理及び運営、スポーツ・文化に関する事業を行い、フットサルを中心とした、生涯スポーツ・生涯学習の実現、総合型スポーツクラブの発展と地域コミュニティの確立及び活性化に寄与すること、子どもの健全育成の精神に基づき、子どもの生活環境の維持の援助及び生活困窮者の子どもに対する各種援助をすることにより、社会教育の推進を図ること。

■ 主な活動内容

- ・ FC puti-United をはじめとするフットサルクラブの運営
週3回活動、山形県フットサルリーグ加盟等
- ・ フットサルチームの育成及び運営
- ・ フットサル及びサッカー、スポーツ選手及び指導者の育成及び指導事業
- ・ スポーツイベントの開催及び運営
- ・ スポーツ施設の設置、管理、運営事業
- ・ 幼稚園、保育園、小学校及び中学校等におけるフットサルスクール事業
- ・ スポーツを通じての地域住民等との交流事業
- ・ 子どもの生活環境の維持に関する援助事業
- ・ 社会教育の推進を図る活動
- ・ 不登校、発達障害やひとり親など事情を抱える子どもたちへのスポーツ環境提供
- ・ 女子フットサルを通じた女子選手育成、健全育成活動
- ・ 地区フットサル女子リーグ参戦

■ 私たちのグラsslroots宣言

<引退なし>

スポーツに引退はなく、年齢・性別を問わず、より多くの方が気軽にスポーツを行える環境づくりが大切考えています。フットサルによる幼少期、育成年代、社会人の各カテゴリーのクラブを連携して活動し、フットサルをしたい人に適切な「場」を提供することにより、生涯スポーツ・生涯学習の理念を確固たるものにし、ひいては地域を元気にする活動を行います。

<補欠ゼロ>

フットサルを生涯スポーツとして楽しめるように、幼少期は厳しさよりも楽しさを存分に体感してもらった上で、仲間の

大切さや仲間とやり遂げることを体験してもらうことで、活躍する場を公平に与えます。

同じ志を持つ仲間が融合することで、チーム及びクラブの総合力が上昇することを感じてもらうため、全員フットサルを目指します。

<障がい者サッカー>

障害や個別事情にとらわれず、誰もがスポーツに汗を流し、スポーツを楽しめる環境を提供することで、スポーツ人口の拡大や生涯スポーツの選択、仲間とエンジョイする楽しみを広げていきます。

<女子サッカー>

女子のフットサル及びサッカー競技者の底上げ、選手育成のため、計画的な練習と地区リーグ参戦による活動者の増加を目指しています。

また、健常者のみならず、障がい者や運動が苦手な方の参加を募っての楽しむスポーツ感の醸成を図り、生涯スポーツとしての位置づけを目指します。

<施設の確保>

当NPOクラブでは、2017年9月に本拠施設を購入していますが、1階部分にはトレーニングルームを設置しているほか、当クラブチームの活動拠点にもしております。

当施設を本来的なクラブ活動の拠点とすることで、フットサル人口やスポーツ人口の増加に加え、更なる地域貢献に寄与する活動を展開していきます。

<社会課題への取り組み>

現代社会の喫緊の課題となっている不登校やひきこもりの根絶を目指し、関係機関や団体と連携するなどして、対象の方々により多くの声掛けをし、フットサルをはじめとしたスポーツ環境を提供するなどして、生活環境や生き方過ごし方を変化させる活動を目指します。

■ 上記宣言を具現化するための活動内容

<引退なし>

現在、幼少期から社会人までの各カテゴリーにおけるフットサル活動を行い、トップチームは山形県フットサルリーグに加盟しており、その中に50歳を超える選手も現役で活躍し、若者を鼓舞しております。

また、入会者に制限はなく、幼少期及び育成年代の活動には、保護者も交えた練習等も行い、年代的に幅広い活動を継続実施中です。

アマチュアに引退はなく、厳しい競技としてのフットサルのほか、世代を越えて、みんなが一緒に楽しめるフットサルの場を提供します。

<補欠ゼロ>

週3回の練習のうち1回は、男女問わず幼少期から社会人まで全体で同一練習を行い、フットサルの楽しさを感じてもらい、特に子供たちに上の選手を見せることで憧れを持ってもらい、フットサル志向を高めた上で、勝つことだけを目標とするものではなく、「みんながいるからこそ、楽しくフットサルができる」ことを根幹として、大会等では全員出場を実現させています。

また、JFA主催のファミリーフットサルにはクラブ員全員で継続して出場し、親子やクラブ員の絆を深める活動もしています。

<障がい者サッカー>

毎週1回、山形市において、障害や事情のある子どもたちに向けたフットサルスクールを開催し、障害や事情にとらわれずフットサルやスポーツを楽しむ環境提供を行っており、今後も継続していきます。

<女子サッカー>

毎週1回以上の計画的な練習と地区リーグに参戦します。

エンジョイ志向者のための女子エンジョイフットサルカテゴリーもあるフリーフットサルの機会を提供します。

フットサルを基本とし、サッカーへの活用を考慮した競技者の育成をします。

<施設の確保>

当クラブ施設の1階トレーニングルームにおける運動環境の提供として、スポーツ教室の開催に加え、月2回程度の足技に特化したフットサル教室開催を行い、フットサル技術の向上に寄与します。

また、フットサルクラブの情報発信拠点としての確立を目指し、各情報発信やイベント開催などを行っており、今後も継続します。

新型コロナ感染対策を考慮した施設運営も検討して実施します。

<社会課題への取り組み>

NPO法人設立以前から継続して実施している不登校やひきこもり、発達障害者知的障害者等へのフットサル及びスポーツ環境の提供を継続して行います。

特に、不登校やひきこもり等への対応として、これまでも継続して行っている関係機関や団体等と連携し、対象者への呼びかけを行うなどして、毎週1回開催しているフリーフットサルへの参加や誰もが参加できるエンジョイフットサルイベントの参加などを促し、少しずつでも対象者やその家族の生活環境改善に寄与していき、不登校やひきこもりの根絶に努めていきます。

■ 活動報告

[団体ホームページはこちら](#)